

重春まちづくり広報 (平成28年度)

地区まちづくり事業の再開！

昨年度まで「重春・野村地区交流推進委員会」として実施しておりました地区まちづくり事業について、地区交流推進委員会では行わないとの事で、今年度より当該事業を再開することとして、この広報に掲載する諸事業を行いました。

事業の再開にあたり、組織の再構築や運営に対して十分な時間的検討期間がなく再スタートとなりました。

重春地区の皆様方には説明しなかった事をお詫び申し上げますと共に、「まちづくり事業の再開」をここに報告致します。

「頼政まつり」の弓道演武

高松町の長明寺には、源三位頼政公の「ぬえ退治像」があり、毎年4月29日の昭和の日に「頼政まつり」が催行されている。公は、武将の中で“弓の名手”として知られ、和歌人としても数々の和歌集に名を留めている“文武両道の武人”である。

当協議会では、まつりに花を添えるために弓道の演武を提供して、地区の方々に喜んで頂いています。演武は兵庫教育大学の弓道部に依頼して実施しております。

来年度は「鏑矢の実射」を考えており、乞うご期待！！



景観作りの「コスモス」

重春地区は、自然が豊かで歴史的にも優れています。その地区の景観作りとして板波町・高松町に「コスモス」を作付して頂きました、写真は板波町で児童の登校集合場所の裏で実施しました、しかし高松町は“鹿に食べられて”景観づくりになりませんでした。

これも自然や温暖化の厳しさを感じる結果でありました。

来年度は、この反省に立って考慮したいと考えており、実施の町の検討を致します。

地区内の史跡に案内板の設置

重春地区にはいろいろな名勝や史跡が点在している。それらを紹介し、案内板や標識を設置して行きたいと考えており、順次整備して行く予定です。しかし整備には地元の了解も必要なので少しずつ進めてまいります。



「地区交流ハイキング」が

雨天にて中止に!!

今年は、高田井町・和田町・谷町の歴史探訪を11月12日(土)計画！残念ながら前日から“あめふり”で中止やむなしになった。また来年

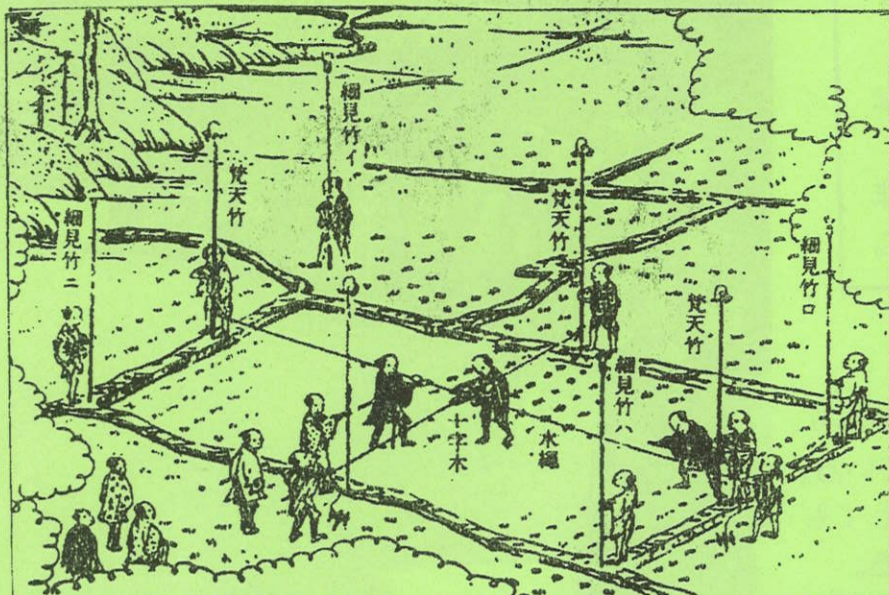
歴史探訪と
来年の干支作りを
楽しんでね～



「検地」について

日本の3つの土地制度の「班田収授法」「検地」「地券発行」の中で、「検地」は中世から近世への経済的な大きな転換点である、と共に軍事的な動員制度上から見て历史的な基準となる事柄である。

しかし その実体はあまりよく知られていなく教科書などの図『徳川幕府県治要略』に見られる程度であろう。



この図から見れば「検地はそんなに難しいもの」ではない様であるが、実際の田畑は、自然地形によって大部分が不等边的に変形している、これを「縦寸×横寸」で田畑の面積を算出するには「計測の縄を直交させる」必要があり、検地棹（ぼんてん）を立てる位置が大きなポイントになる。

図で見れば、田畑の中心部で測定縄に「十字木」を当てて検地棹（竹）の縦・横の寸法を読み、面積を算出する。特に、両方端の寸法の著しく異なる場合は、何処に検地棹をその中心として立てるかに依って面積が変わってくる。

豊臣秀次検地条々 『一柳文書17』に依れば、

- | | |
|-----------------|---------|
| 1、上 田 | 壹石五斗 |
| 1、中 田 | 壹石三斗 |
| 1、下 田 | 壹石壹斗 |
| 1、上 畠 | 壹石 |
| 1、中 畠 | 七斗五升 |
| 1、下 畠 | 五斗 |
| 1、山畠、野畠見及次第可入念事 | |
| 1、壹段ニ付テ五間、六十間事 | |
| 1、升、京判たるべき事 | など細かな指示 |

を13項目にわたり掲載している。この内 百姓と検地用入との関係が問題であり、それに依れば、棹打ち場において棹持ちと百姓が歩合についてささやく事は曲事（くせごと）として厳しく禁止している。 検地の面々は、一粒一銭の礼物も受け取ってはならないと記している。

右 条々聊不可油断者也
天正19年8月20日 秀次印

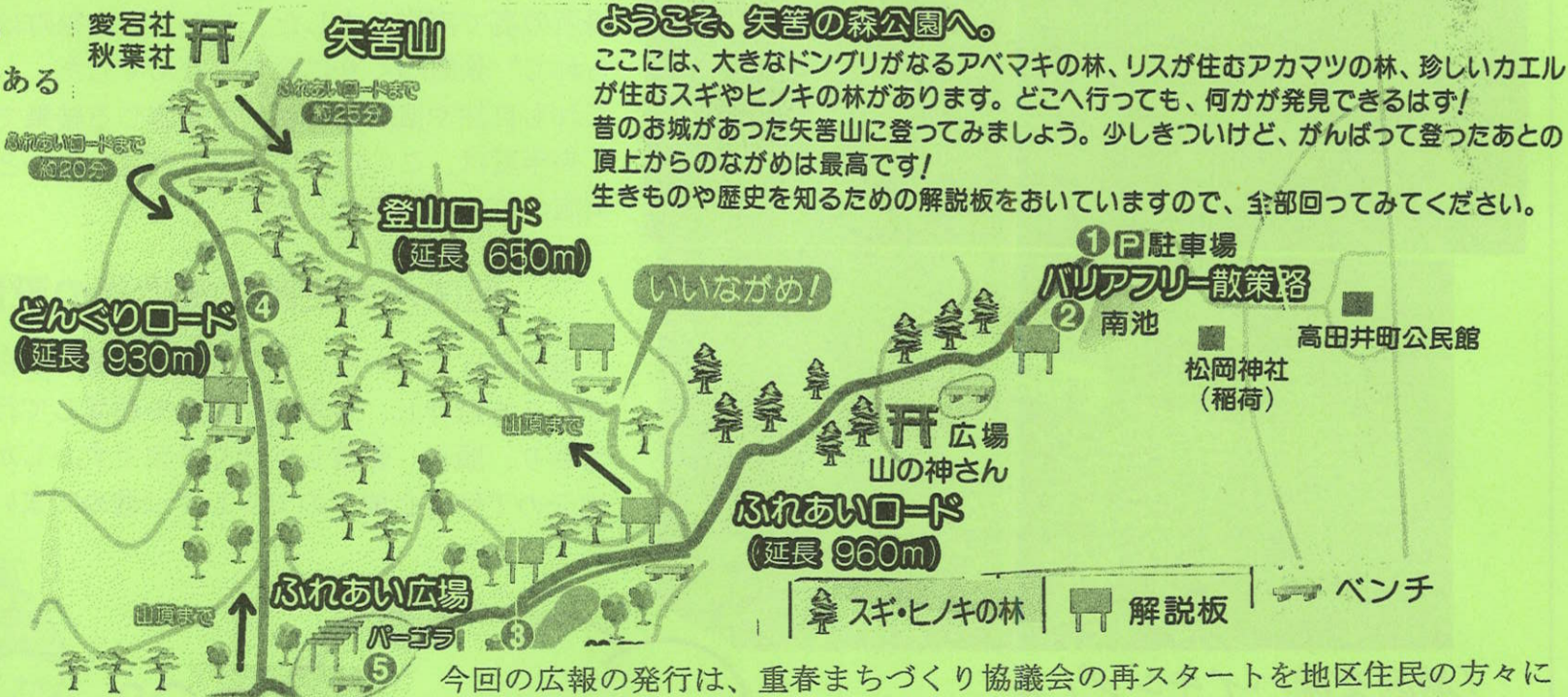
検地は、地見（上田から下畠）・面積・作人を一筆ごとに記入して帳面に記して、総合計して村高を算出している。

播磨における検地は、太閤検地・三左衛門検地・延宝検地の3回が行われている。

- 1、 太閤検地・・・文禄4年に行われたが、検地帳は池田輝政により回収されて殆ど残っていない。一間は6尺3寸を基本とする。
- 2、 三左衛門検地・・・古検とも言う、慶長5年実施。一間は6尺（2割打ち出し）姫路築城の為に。
- 3、 延宝検地・・・新検と言う。延宝元年及び6年から畿内の幕府領地を対象に行われた。

重春地区のシンボルである「矢筈山」

四季折々美しい景色が楽しめますので御家族でお出かけ下さい!!



編集後記

今回の広報の発行は、重春まちづくり協議会の再スタートを地区住民の方々にお知らせする事を目的にして、今後の目標設定をしたいと考えました。

皆様の御意見が頂けますれば 幸いと思っております。

今年度の委員

- | | |
|-----------------------|-----------|
| 和布町 竹岡 昭氏・藤田佳緒 (会計) 氏 | 高松町 吉田広樹氏 |
| 平野町 吉田敏之氏 | 谷 町 荻野正治氏 |
| 高田井町 藤原広幸氏 (会計監査) | 和田町 在田景侯氏 |
| 板波町 藤原孝三 (会長) | |

